



潤水都市 さがみはら

# 第82回九都県市首脳会議 相模原市提案

## 休日の部活動の地域移行に向けた 取組への支援について



# 提案の背景



潤水都市 さがみはら

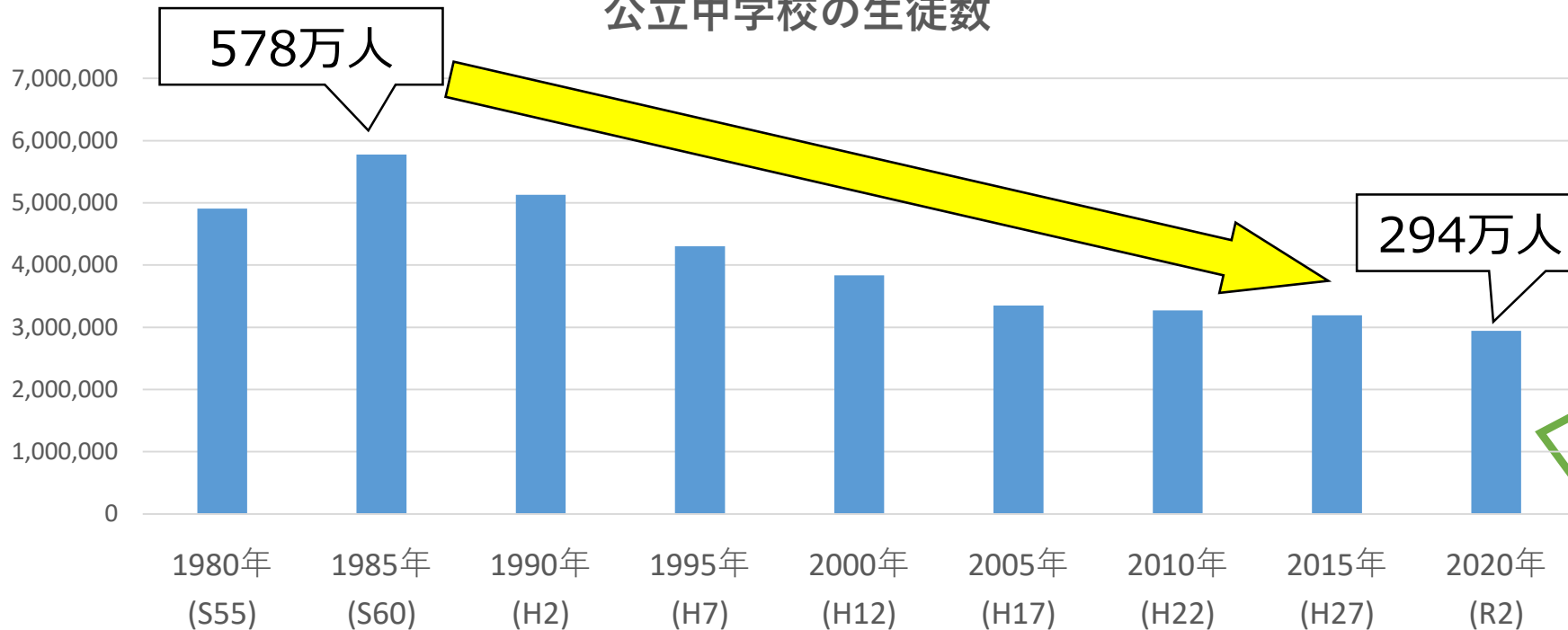
## ① 生徒数の減少

35年間で公立中学校の生徒数が約5割減少

- ・ 1校あたりの生徒数が減少
- ・ 競技に必要な部員数の確保が困難

学校単位の部活動に課題

公立中学校の生徒数



1校あたりの運動部活動の設置数は、2007年（平成19年）以降ほぼ横ばい

「運動部活動の地域移行に関する検討会議提言 参考資料集」より

## ②教師の業務負担の現状

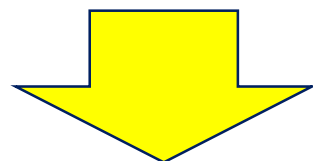
2018年（平成30年）OECDの調査で、日本の教師が世界一長時間労働

### 教師の仕事時間（中学校）

		参加48か国平均	日本
<b>仕事時間の合計</b>		<b>38.3 h</b>	<b>56.0 h</b>
内訳 (主なもの)	授業（準備、評価含む）	30.9 h	31.6 h
	教育相談・保護者連絡	3.6 h	3.5 h
	一般的な事務教務	2.7 h	5.6 h
	学校運営への参画	1.6 h	2.9 h
	<b>課外活動の指導</b>	<b>1.9 h</b>	<b>7.5 h</b>

「課外活動（放課後のスポーツ活動や文化活動）」の指導時間が参加国中で最長

- 学校の働き方改革を踏まえた部活動改革について (令和2年9月)
- 運動部活動の地域移行に関する検討会議 提言 (令和4年6月)
- 文化部活動の地域移行に関する検討会議 提言 (令和4年8月)



- ✓ 休日の部活動の段階的な地域移行
- ✓ 令和5年度から3年間で**改革集中期間**
- ✓ スポーツ、文化芸術活動の**機会の確保、充実**
- ✓ 地域の団体等と学校との**連携・協働の推進**

## ① 推進計画の策定



課題

- 人材や財源確保など、全国共通の課題
- 学校の働き方改革と生徒の活動機会の確保の両立



要望

- 全国共通の課題等を踏まえた基本的な在り方を示すこと
- 学校の働き方改革や自治体の実務を踏まえた、生徒の視点に立った制度設計

## ② 生徒の多様なニーズへの対応



課題

技術を高めたい、活動を楽しみたいといった生徒の多様なニーズに応えていく必要性



要望

関係団体や大会主催団体等と十分連携した上で、生徒の活動機会や多様な成果発表の場が確保される在り方の検討

## ③ 家庭における費用負担の在り方



課題

自治体や地域によって各家庭の活動費の負担に格差が生じる懸念



要望

- 各家庭の負担に格差が生じない 費用負担の在り方を示すこと
- 生活困窮世帯の生徒の活動機会確保のための万全の措置

## ④ 十分な財政措置



課題



要望

**部活動の地域移行には多大な費用がかかる**

(例:地域の指導者への人件費など)

自治体に対する十分な財政措置

## ⑤ 持続可能な制度設計



課題

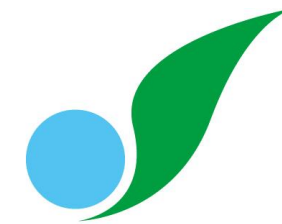


要望

**自治体の規模や財政力などにより、生徒の活動機会の確保に格差が生じる可能性**

地域移行後においても、継続的・安定的な運営が可能となるよう、永続的な財政措置を前提とした制度設計を行うこと

未来に向けて



潤水都市 さがみはら

未来を担う子どもたちのために・・・

学校



地域

自治体



国

